

うめ物語

みなべ・田辺の梅システム

江戸時代から続いてきて、今もなお大切に守られている。
「みなべ・田辺の梅システム」はそんな農業の仕組みなんです。
いつもの風景の中で、梅づくりの物語は続いています。

2024 CALENDAR



十日えびす
(みなべ町 須賀神社)

撮影者: 深見 英雄

2023	日	月	火	水	木	金	土
12						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

2024 1 January

2024	日	月	火	水	木	金	土
2						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	

日	月	火	水	木	金	土
31	1 元日	2	3	4	5	6
7	8 成人の日	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27 南部梅林 開園
28	29	30	31	1	2	3

 ウメ知識 私たちにできること

梅システムを未来につなげるための方法は無限にあります。梅農家や炭焼き職人の就業者を増やす、梅料理レシピを開発する、紀州備長炭を活用するなど生産や消費に関わる取組のほか、観光客に地域特産品 PR を行うことで消費量の拡大につながります。私たちにできることから始めましょう。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日が変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



香りをのせて
(みなべ町)

撮影者:中西 克仁

2024	日	月	火	水	木	金	土
1	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	29
30	31						

2024 2 February

2024	日	月	火	水	木	金	土
3	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 建国記念の日 内中源蔵翁供養祭	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28	29	1	2

みなべ・田辺で暮らす生き物たち

海辺と山間が隣接するみなべ・田辺地域では、豊かな自然を守りながら農業を営んできました。その結果メジロやウグイスをはじめ、ハイタカやオオタカ、セトウチサンショウウオなどの希少生物も多数生息しています。みなべ町の千里の浜は、本州一のアカウミガメの産卵地にもなっています。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日が変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



冬のおわり
(田辺市 紀州石神田辺梅林)
撮影者: 植田 ちひろ

2024	日	月	火	水	木	金	土
2					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29		

2024 **3** March

2024	日	月	火	水	木	金	土
4		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	1	2
3	4	5	6	7	8 <small>みつばちの日</small>	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20 <small>春分の日</small>	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

**梅の受粉には
ミツバチが不可欠**

梅の品種の多くは、他品種の花粉を受粉させないと実がなりません。受粉作業を手作業で行うには限界があるため、古くから受粉にはニホンミツバチが活用されてきました。花の少ない早春に満開となる梅は、ニホンミツバチにとって貴重な蜜の供給源となっています。現在は、ニホンミツバチ以外にセイウミツバチも活用されています。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日が変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



春の訪れ
(みなべ町島ノ瀬ダム)
撮影者: 宇和 孝仁

2024	日	月	火	水	木	金	土
3						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

2024 4 April

2024	日	月	火	水	木	金	土
5				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29 昭和の日	30	1	2	3	4

ウメ知識 択伐技術による山の保全

薪炭林にあるウバメガシなどの原木林が枯渇してしまう危機もありましたが、先人から続いている「択伐技術」が薪炭林を守ってきました。炭焼き職人が紀州備長炭の原材料であるウバメガシやカシを必要な量だけ択伐することで、土砂崩れなど山が荒れるのを防ぎ、里山は保全されています。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日に変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



ブドウ梅
(みなべ町清川)
撮影者:岡本 隆

2024	日	月	火	水	木	金	土
4		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

2024 **5** May

2024	日	月	火	水	木	金	土
6							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

ウメ知識 青梅と完熟した梅の違いと活用法

3月頃から小さな梅の実収穫までの間、大きく成長します。青梅は、一粒ずつ手もぎで収穫され、すっきりした風味が梅酒や梅ジュースに向いています。一方、完熟した梅は、梅畑一面に敷いたネットで受けて、梅を集めて収穫します。桃のような芳香を放ち、果肉はやわらかく、梅干しに向いています。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日が変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



連れもて拾お
(みなべ町晩稲)

撮影者: 小山 智久

2024 日 月 火 水 木 金 土

5			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2024 **6** June

2024 日 月 火 水 木 金 土

7	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6 梅の日	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

ウメ知識 「梅の日」の言い伝えと梅雨の由来 室町時代末期、日照りで作物が育たず人々が苦しんでいました。神様のお告げを聞いた後奈良（ごなら）天皇が、6月6日に賀茂神社へ梅を奉納して祈願すると、大雨が降ったそうです。その雨は「梅雨」と呼ばれ、紀州梅の会では6月6日を「梅の日」と決めました。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日が変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



旧会津橋曳き揃え
(田辺市 旧会津橋)

撮影者: 鈴木 文代

2024	日	月	火	水	木	金	土
6							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30						

2024 7 July

2024	日	月	火	水	木	金	土
8						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 海の日	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

ウメ知識 みなべ・田辺地域に残る伝統行事の数々

農業システムに関連した祭事・行事や地域の絆があることも、世界農業遺産に認定される条件の一つ。みなべ・田辺地域には、伝統的な祭事や行事が残っていますが、梅の日の奉納や古城奉納奉告祭、梅供養など、梅に関する新しい神事、仏事も始まり、新たな伝統となりつつあります。祭事や行事は梅の収穫に感謝し、地域の絆が深まる機会となっています。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日が変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



梅干し回転作業
(みなべ町)

撮影者:中西 まり子

2024 日 月 火 水 木 金 土

7	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2024 **8** August

2024 日 月 火 水 木 金 土

9	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
15	16	17	18	19	20	21	22
22	23	24	25	26	27	28	29
29	30						

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 山の日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

ウメ知識 梅干し「コロをする」って何のこと?

昔から梅干しを作る際、一粒一粒の梅を手でコロコロとひっくり返しながら天日干しを行っています。そのことから、梅をまんべんなく干すために上下をひっくり返す作業を「コロをする」と言っています。この言葉は、みなべ・田辺地域だけで使われている言葉です。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日に変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



秋の里
(みなべ町熊瀬川)
撮影者:平 房躬

2024 日 月 火 水 木 金 土

8				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2024 **9** September

2024 日 月 火 水 木 金 土

10		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 敬老の日	17	18	19	20	21
22 秋分の日	23 振替休日	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

ウメ知識 みなべ・田辺地域の多様な農作物

みなべ・田辺地域では、梅以外にも多様な農作物があり、米やキャベツ、ブロッコリー、イチゴ、エンドウ、ミニトマトなどが栽培されています。また、和歌山県の特産品でもあるミカンやハッサクなどの柑橘類も多く栽培されていて、豊かな自然の恵みを味わうことができます。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日が変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



よさこい踊り「プラリズム～梅舞～」
(田辺市 扇ヶ浜公園)

撮影者: 鈴木 文代

2024	日	月	火	水	木	金	土
9	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

2024 10 October

2024	日	月	火	水	木	金	土
11						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 <small>スポーツの日</small>	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

ウメ知識 地域と地域産業で
開催する伝統行事

弁慶まつりは、1987年に始まった比較的新しい祭りで、梅関連会社をはじめとする企業や団体からの協賛金や一般からの募金で成り立っており、30回を超える地域の新たな伝統行事となっています。毎年10月に開催されますが、この時期はその年に収穫した梅の梅干しが出回る時期にあたります。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日に変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



渚のY字バランス
(田辺市 天神崎)

撮影者: 岩崎 一也

2024	日	月	火	水	木	金	土
10			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

2024 11 November

2024	日	月	火	水	木	金	土
12	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3 文化の日	4 振替休日	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日
24	25	26	27	28	29	30

ウメ知識 里山・里地・里海
それぞれの生態の多様性

田辺湾の北側に突き出た岬の「天神崎」は、緑豊かな丘陵部と干潮時に出す平らな岩礁で形成されていて、森・磯・海の三者が一体となって一つの生態系を作り、豊かな自然が残っています。引き潮時で潮位が150～140cm程度になると岩礁にたまった水が綺麗に反射し、ウユニ塩湖のような景色になっています。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日が変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



紀州備長炭の美
(みなべ町)

撮影者:中西 克仁

2024	日	月	火	水	木	金	土
11						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

2024 12 December

2025	日	月	火	水	木	金	土
1				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 山祭りの日
8	9	10	11	12	13	14
15 世界農業遺産認定の日 	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

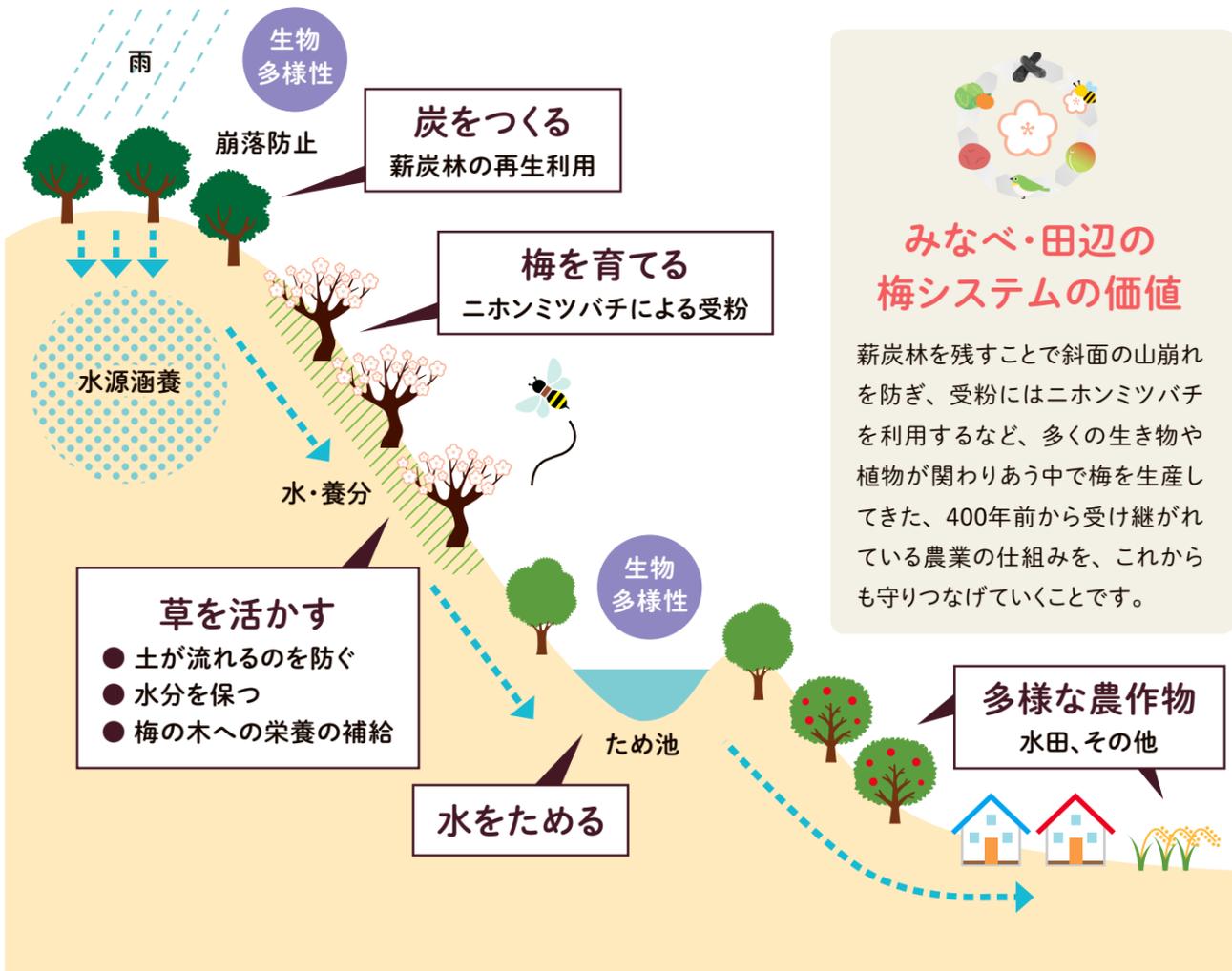
ウメ知識 黄金色に輝く紀州備長炭窯の出し 炭焼き工程のクライマックスともいえる窯出し。1000°Cを超える高温の中、10時間もの重労働に耐え、「エブリ」という長い金属の棒でかき出す紀州備長炭。その美しく黄金色に輝く炭が連なる風景は格別です。窯口で皮を焼き落とし、灰と赤土の粉を混ぜた素灰をかけて消火して、完成です。

※祝日法の改正などにより、祝日・休日が変更になる場合があります。(2023年11月末時点の情報に基づく)



みなべ・田辺地域の梅栽培

みなべ・田辺地域の梅栽培は、江戸時代から始まりました。やせ地が免租地となるため、そこに梅を栽培したのです。難しい栽培にも負けず新しい梅の品種を次々と生み出し、地域の風景や産業として、なくてはならない存在となりました。



みなべ・田辺の梅システムの価値

薪炭林を残すことで斜面の山崩れを防ぎ、受粉にはニホンミツバチを利用するなど、多くの生き物や植物が関わりあう中で梅を生産してきた、400年前から受け継がれている農業の仕組みを、これからも守りつなげていくことです。

Point1

薪炭林が山を守っている

炭の原料となる薪炭林を育てることで、斜面の崩落を防ぎます。水分と同時に養分も含まれるため、多様な生物が住み、農業にも適した元気な山が守られています。

Point2

ミツバチが梅の受粉をサポート

みなべ・田辺地域で栽培している梅の多くは、他品種の花粉で受粉しないと実をつけません。手作業で行うのは難しいため、古くからニホンミツバチを活用してきました。

Point3

生産者と加工業者の連携

みなべ・田辺地域では、生産者が収穫した梅を塩漬けし、天日干しまでを行う一次加工を担い、加工業者は、はちみつ梅干しなどの様々な味付けを行う二次加工を行っています。

Point4

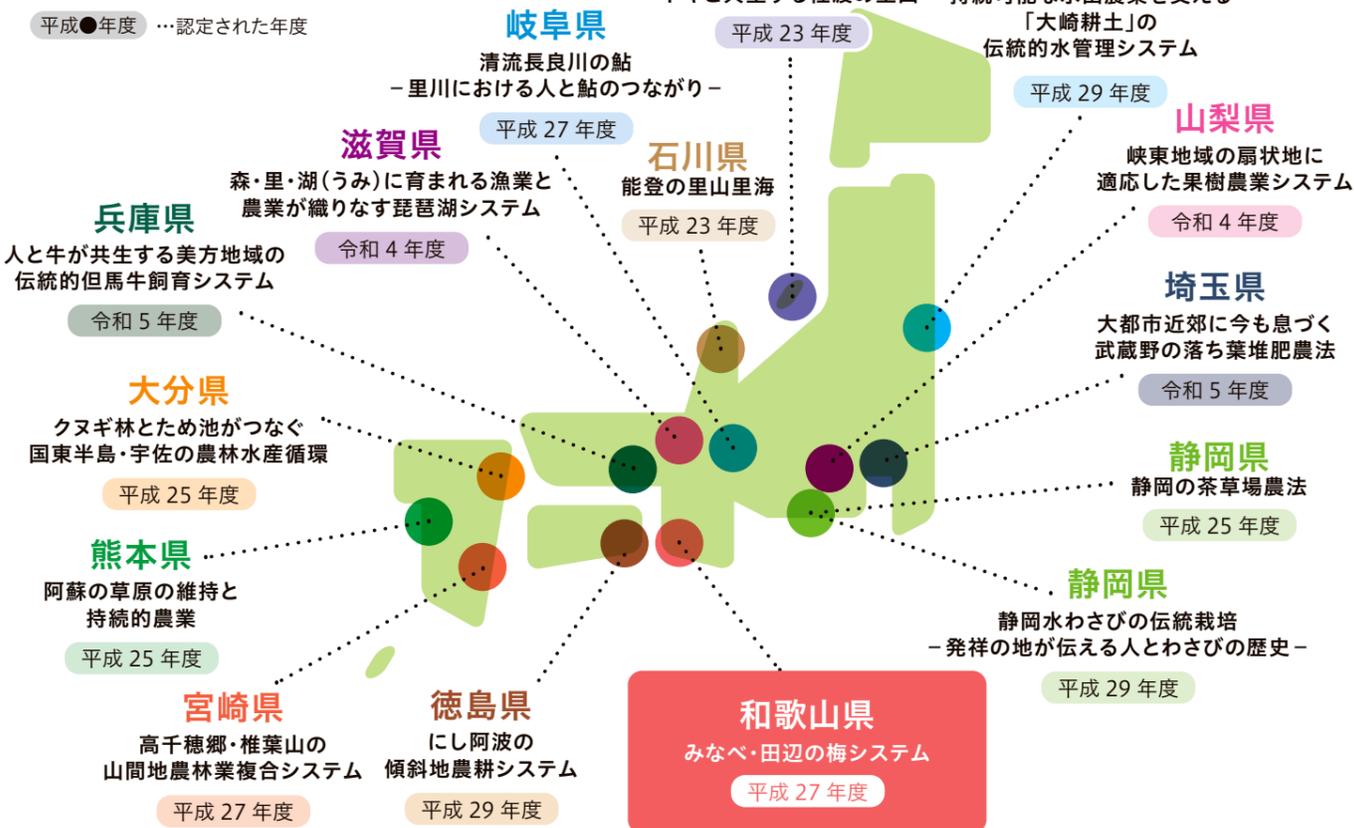
すべてをつなぐ生態系

みなべ・田辺の梅システムによって、自然環境が守られてきました。元気な山では多種多様な生物が暮らし、農業や生活が営まれるなど、生態系が維持されてきました。

世界農業遺産ってなに？

みなべ・田辺の梅システムは、平成27年に世界農業遺産に認定されました。これは、社会や環境に適応しながら継承されてきた独自性のある農林水産業などの保全・継承を目的とした認定制度で、世界で78地域が認定されています(令和5年7月現在)。

日本にある世界農業遺産



人々の努力が実を結んだ みなべ・田辺の梅システムの 世界農業遺産認定

ロゴマークには、梅の実と花、ミツバチが描かれています。薪炭林の山、製炭、川が流れ広がるイメージで、みなべ・田辺の梅システムの振興と発展を願ったものです。平成26年2月から勉強会や研修会を行い、平成27年12月に世界農業遺産に認定されました。みなべ・田辺の梅システムは、地域の人々の協力と努力なしには語れない、世界に誇れるべき宝です。

みなべ・田辺地域には、梅栽培を中心に続いてきた農業形態や文化、景観があります。

この世界に誇れる農業システムを、これからも守り、つなげていきましょう。

ずっと続いたこの仕組みを、これからも守りたい。世界に誇れる、みなべ・田辺の梅システム。



「みなべ・田辺の梅システム」についてくわしくは…

* 和歌山の世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」

<https://www.giahs-minabetanabe.jp>



「みなべ・田辺の梅システム」の概要や最新ニュースをいち早くお届けします。

* みなべ町ウェブサイト／田辺市ウェブサイト

● みなべ町ウェブサイト…<http://www.town.minabe.lg.jp>

● 田辺市ウェブサイト…<http://www.city.tanabe.lg.jp>

梅林の開花状況や、梅に関わる取り組みなどを紹介しています。

* みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会 Facebook

<https://www.facebook.com/minabetanabe.wakayama.giahs>

みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会の活動の様子を紹介しています。

発行：みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会

〒645-0002 和歌山県日高郡みなべ町芝742番地(みなべ町うめ課内) 電話：0739-33-9310 FAX：0739-72-3893